プログラム

■A会場（ライフホール）

開会挨拶（8:25～8:30）

第80回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会　会長　吉村　紳一（兵庫医科大学　脳神経外科）
第7回日本脳神経血管内治療学会近畿地方会　会長　佐藤　徹（国立循環器病研究センター　脳神経外科）

脳腫瘍1（8:30～9:12）

座長：高橋　義信（京都府立医科大学）
コメンテーター：深見　忠輝（滋賀医科大学）

A-01　Isolated fourth ventricleを呈した、小脳延髄血管芽腫の一例
和歌山県立医科大学脳神経外科
濵 裕也、佐々木 貴浩、矢本 利一、北山 真理、深井 順也、西林 宏起、中尾 直之

A-02　経鼻内視鏡による瘻孔の閉鎖が有用であったトルコ鞍内くも膜嚢胞の1例
[1] 関西医科大学脳神経外科、[2] 野崎徳洲会病院脳神経外科
内藤 信晶[1]、埜中 正博[1]、上野 勝也[1]、前田 昌丈[2]、山村 奈津美[1]、小森 裕美子[1]、磯崎 春菜[1]、李 一[1]、亀井 孝昌[1]、武田 純一[1]、羽柴 哲夫[1]、吉村 晋一[1]、淺井 昭雄[1]

A-03　大型側脳室三角部髄膜腫に対するcombined high parietal and transtemporal approachの有用性について
[1] 社会医療法人三栄会　ツカザキ病院脳神経外科、[2] 大阪市立大学脳神経外科、
[3] 社会医療法人弘道会なにわ生野病院
服部 真人[1]、中条 公輔[2]、森迫 拓貴[2]、大畑 裕紀[2]、渡部 祐輔[2]、有馬 大紀[2]、一ノ瀬 努[2]、宇田 武弘[2]、川嶋 俊幸[2]、大畑 建治[3]、後藤 剛夫[2]

A-04　動眼神経麻痺を呈した海綿静脈洞近傍髄膜腫の1手術例
[1] 堺市立総合医療センター診療局、[2] 堺市立総合医療センター脳神経外科
横川 眞帆[1]、中島 義和[2]、梶川 隆一郎[2]、角野 喜則[2]、入里 直樹[2]、都築 貴[2]

A-05　再発難治性髄膜腫44例に対するBoron Neutron Capture Therapy後の長期経過観察結果
[1] 大阪医科薬科大学脳神経外科・脳血管内治療科、[2] 城山病院　脳・脊髄・神経センター、
[3] 京都大学、[4] 関西BNCT共同医療センター
高井 聡[1]、鰐渕 昌彦[1]、川端 信司[1]、竹内 孝治[2]、良憲 櫻井[3]、鈴木 実[3]、小野 公二[4]、宮武 伸一[4]

A-06　トルコ鞍内部に発症したganglion cell tumorの1例
大西脳神経外科病院脳神経外科
砂田 拡、兒玉 裕司、細川 真、片山 義英、前岡 良輔、高橋 賢吉、大西 宏之、山本 慎司、西岡 利和、久我 純弘、垰本 勝司、大西 英之

脳腫瘍２（9:15～9:57）

座長：松田　良介（奈良県立医科大学）
コメンテーター：荒川　芳輝（京都大学）

A-07　初発原発性膠芽腫に対する覚醒下手術

[1] 大阪市立大学脳神経外科、[2] 大阪市立大学大学院医学研究科、[3] 大阪府済生会中津病院脳神経外科、[4] 社会医療法人弘道会なにわ生野病院
平田 晴樹[1]、中条 公輔[1]、宇田 武弘[1]、高 沙野[2]、佐々木 強[3]、劉 兵[1]、石野 昇[1]、大道 如毅[1]、大畑 建治[4]、後藤 剛夫[1]

A-08　転移性脳腫瘍との鑑別が困難であった多発性膠芽腫の一例

[1] 淀川キリスト教病院　臨床研修センター、[2] 淀川キリスト教病院　脳神経外科、
[3] 淀川キリスト教病院　病理診断科、[4] 神戸大学　脳神経外科
金 永珠[1]、松木 泰典[2]、森 達也[2]、池田 充[2]、森川 雅史[2]、稲葉 真由美[3]、篠山 隆司[4]

A-09　第４脳室内lymphopmaの１例

大阪市立大学脳神経外科
児嶌 悠一郎、中条 公輔、一ノ瀬 努、宇田 武弘、川嶋 俊幸、後藤 剛夫

A-10　PLNTYと診断された右側頭葉脳腫瘍の一例

[1] 南和歌山医療センター脳神経外科、[2] 和歌山県立医科大学　脳神経外科
横矢 美穂[1]、中井 康雄[2]、佐々木 貴浩[2]、深井 順也[2]、西林 宏起[2]、中尾 直之[2]

A-11　閉塞性水頭症を併発したPineal Anlage Tumorに対して開頭腫瘍摘出術を行った１例

[1] 関西医科大学脳神経外科、[2] 野崎徳洲会病院脳神経外科
上野 勝也[1]、埜中 正博[1]、内藤 信晶[1]、山村 奈津美[1]、前田 昌丈[2]、李 一[1]、小森 裕美子[1]、磯崎 春菜[1]、亀井 孝昌[1]、武田 純一[1]、羽柴 哲夫[1]、吉村 晋一[1]、淺井 昭雄[1]

A-12　局所再発せず、８年後に頭蓋骨転移した乳房外Paget病の一例

[1] 京都桂病院、[2] 京都桂病院　病理診断科、[3] 京都桂病院　放射線治療科、[4] 京都桂病院　皮膚科
稲田 拓[1]、中久木 卓也[1]、中嶌 教夫[1]、三宅 英則[1]、渋谷 信介[2]、坂本 隆吏[3]、石川 牧子[4]

脳腫瘍３（10:00～10:35）

座長：田中　一寛（神戸大学）
コメンテーター：深井　順也（和歌山県立医科大学）

A-13　脳原発神経内分泌腫瘍の一例

[1] 大阪警察病院臨床研修センター、[2] 大阪警察病院脳神経外科
福森 惇司[1]、福留 賢二[2]、中島 司[2]、速水 宏達[2]、佐々木 弘光[2]、松岡 龍太[2]、鄭 倫成[2]、新 靖史[2]、明田 秀太[2]、本山 靖[2]

A-14　放射線治療後、出血を呈した小脳血管芽腫の一例

奈良県西和医療センター脳神経外科
中川 龍太郎、弘中 康雄、森崎 雄大

A-15　成人に発症した小脳橋角部上衣腫の一手術例

奈良県立医科大学脳神経外科
矢野 佑磨、横山 昇平、山田 修一、木次 将史、朴 憲秀、竹島 靖浩、松田 良介、田村 健太郎、西村 文彦、中川 一郎、朴 永銖、中瀬 裕之

A-16　眼窩内に発生した多形腺腫由来癌の一例

[1] 京都大学医学部脳神経外科、[2] 京都大学医学部附属病院眼科
夏原 啓暉[1]、丹治 正大[1]、藤本 雅大[2]、寺田 行範[1]、大石 正博[1]、峰晴 陽平[1]、荒川 芳輝[1]、吉田 和道[1]、宮本 享[1]

A-17　GH産生巨大下垂体腺腫の治療経過中に生じた遅発性髄液漏に対する治療経験

[1] 大阪市立総合医療センター、[2] 多根総合病院
大島 龍之介[1]、西山 太郎[1]、岡田 由実子[1]、石橋 謙一[1]、山下 麻紀[1]、天津 久郎[2]、山中 一浩[1]

特別講演（10:40～11:40）

座長：鰐渕 昌彦（大阪医科薬科大学）

SL　下垂体腺腫に対する内視鏡下経鼻手術：基本から応用まで

虎の門病院　間脳下垂体外科
西岡 宏

共催：カールツァイスメディテック株式会社

ランチョンセミナー1（12:00～13:00）

座長：吉村　紳一（兵庫医科大学）

LS1　臨床研究における統計解析の前提と原則

兵庫医科大学　臨床疫学
森本 剛

血管障害1（13:05～13:40）

座長：中村　　元（大阪大学）
コメンテーター：吉田　和道（京都大学）

A-18　全身性エリテマトーデスに合併した脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血の一例

社会医療法人寿会富永病院脳神経外科
池間 愛知、松田 康、古部 昌明、長尾 紀昭、芝野 克彦、久貝 宮仁、木本 敦史、南田 善弘、乾 敏彦、岩井 謙育、山里 景祥、北野 昌彦、富永 良子、富永 紳介

A-19　稀な中大脳動脈瘤遠位部の紡錘状血栓化動脈瘤の1例

[1] 関西電力病院脳神経外科、[2] 関西電力病院病理診断科
岸﨑 穂高[1]、中島 英樹[1]、高崎 盛生[1]、本郷 卓[1]、藤本 康裕[1]、桜井 孝規[2]

A-20　頭蓋外末梢性後下小脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血に対して開頭トラッピング術を施行した1例

兵庫県立姫路循環器病センター脳神経外科
川村 浩平、前山 昌博、杉原 正浩、溝部 敬、相原 英夫

A-21　腰椎穿刺でも捉えられなかった内頚動脈-後交通動脈瘤破裂により両側硬膜下血腫を呈した1例

大阪急性期・総合医療センター脳神経外科
福永 幹、玉置 亮、下間 惇子、八重垣 貴英、宮前 誠亮、中野 了、枝川 光太朗、堀内 薫、飯田 淳一

A-22　前交通動脈のangiographically occult aneurysmによるくも膜下出血の一例

[1] (公財)田附興風会 北野病院脳神経外科、[2] 神戸市立医療センター中央市民病院脳神経外科
吉﨑 航[1]、武部 軌良[1]、松川 爽[1]、杉山 純平[1]、北村 和士[1]、堀井 亮[2]、元家 亮太[1]、箸方 宏州[1]、石橋 良太[1]、林 英樹[1]、西田 南海子[1]、戸田 弘紀[1]

教育講演１「塞栓術の治療戦略とコイル選択－特徴を特長に－」（13:50～14:50）
座長：藤中　俊之（大阪医療センター）

ES1-1　ED coilからi-ED coilへ：その特徴と脳動脈瘤治療への応用
京都府立医科大学
南都 昌孝

ES1-2　i-ED coilの特長を活かした脳動脈瘤塞栓術
富永病院
木本 敦史

共催：株式会社カネカメディックス

教育講演２「血栓回収療法の習得方法～教わる側、教える側の視点～」（14:50～15:50）
座長：太田　剛史（国立循環器病研究センター）

ES2-1　血栓回収療法の習得方法～教わる側の視点～
兵庫医科大学/協立病院
棚田 秀一

ES2-2　血栓回収療法の習得方法～教える側の視点～
兵庫医科大学
白川 学

共催：日本メドトロニック株式会社

合同企画「分岐部動脈瘤の治療戦略：Big debate」（15:55～17:25）
座長：辻　　篤司（滋賀医科大学）
片岡　大治（国立循環器病研究センター）

GS1　直達手術の標準手技
大阪市立大学脳神経外科
一ノ瀬 努

GS2　血管内治療の標準手技（コイル塞栓術）
和歌山県立医科大学
八子 理恵

GS3　直達手術の応用手技
近畿大学医学部
真田 寧浩

GS4　血管内治療の新しいadjunctive technique
神戸市立医療センター中央市民病院
今村 博敏

症例提示
兵庫医科大学
国立循環器病研究センター

閉会挨拶（17:25～）

第80回日本脳神経外科学会近畿支部学術集会　会長　吉村　紳一（兵庫医科大学　脳神経外科）
第７回日本脳神経血管内治療学会近畿地方会　会長　佐藤　　徹（国立循環器病研究センター　脳神経外科）

■B会場（サイエンスホール）

血管内：脳動脈瘤 1（8:30～9:12）

座長：平松　　亮（大阪医科薬科大学）
コメンテーター：岡田　秀雄（和歌山ろうさい病院）

B-01　コイル塞栓術後再々発に対しステント支援下コイル塞栓術を施行した脳底動脈先端部微小脳動脈瘤の一例
[1] 医療法人弘善会矢木脳神経外科病院、[2] 大阪医科薬科大学脳神経外科・脳血管内治療科
木村 誠吾[1]、矢木 亮吉[2]、岸 文久[1]、小川 大二[1]、山田 圭一[1]、谷口 博克[1]

B-02　前大脳動脈解離性動脈瘤破裂によるくも膜下出血に対してステント併用コイル塞栓術を施行した1例
大阪脳神経外科病院
川本 有輝、浅井 克則、立石 明広、芳村 憲泰、谷口 理章、鶴薗 浩一郎、山本 和己、若山 暁

B-03　FRED留置後早期に遅発性脳動脈瘤破裂した内頚動脈延長拡張の1例
[1] 大阪医科薬科大学脳神経外科・脳血管内治療科、[2] 大西脳神経外科病院脳神経外科
髙木 普賢[1]、平松 亮[1]、矢木 亮吉[1]、辻 優一郎[1]、金光 拓也[1]、池田 直廉[1]、亀田 雅博[1]、
野々口 直助[1]、古瀬 元雅[1]、川端 信司[1]、高見 俊宏[1]、大西 宏之[2]、鰐渕 昌彦[1]

B-04　後方循環脳動脈瘤に対するFlow Diverter治療の中期的治療成績
大阪医療センター脳神経外科
澤田 遥奈、藤中 俊之、中島 伸、金村 米博、木谷 知樹、尾崎 友彦、西本 渓佑、山﨑 弘輝、瀧 毅伊、
西澤 尚起、村上 慶次朗

B-05　一過性黒内障の原因と思われた未破裂解離性動脈瘤に対し眼動脈を含めたステントアシストコイル塞栓術を行った一例
社会医療法人三栄会　ツカザキ病院脳神経外科
坂本 竜司、長濱 篤文、下本地 航、服部 真人、小林 和貴、盧 山、岡本 光佑、川上 太一郎、夫 由彦

B-06　未破裂前交通動脈瘤に対し非優位側のA1からステントを誘導したコイル塞栓術の一例
京都府立医科大学脳神経外科学教室
市橋 碧、南都 昌孝、岸田 健吾、荻田 庄吾、丸山 大輔、橋本 直哉

血管内：AVM、AVF1（9:15～9:50）

座長：小柳　正臣（尼崎総合医療センター）
コメンテーター：石黒　友也（大阪市立総合医療センター）

B-07　脊髄静脈逆流を伴う腰椎部硬膜外動静脈瘻に対してOnyx塞栓術で根治を得た一例
京都大学医学部脳神経外科
三谷 幸輝、石井 暁、大川 将和、安部倉 友、菊池 隆幸、山尾 幸広、吉田 和道、宮本 享

B-08　重症頭部外傷における硬膜動静脈瘻の発生率と危険因子の検討
大阪医療センター脳神経外科
西澤 尚起、木谷 知樹、尾崎 友彦、中島 伸、金村 米博、西本 渓佑、山﨑 弘輝、澤田 遥奈、瀧 毅伊、
村上 慶次朗、藤中 俊之

B-09　経動脈塞栓術で良好な転帰を辿った脊髄硬膜動静脈瘻の1例
神戸市立医療センター中央市民病院脳神経外科
山元 康弘、後藤 正憲、今村 博敏、小柳 正臣、福光 龍、春原 匡、福井 伸行、高野 裕樹、呉 浩一、
春山 裕典、なら本 悠嗣、梶浦 晋司、重安 将志、堀井 亮、朝倉 健登、坂井 信幸

B-10　前頭蓋窩硬膜動静瘻に対して経動脈的塞栓術に経静脈的塞栓術を追加し完全閉塞を得た一例

[1] 奈良県立医科大学脳神経外科、[2] 奈良県総合医療センター脳神経外科
桝谷 鷹弘[1]、前川 秀継[2]、岡本 知也[2]、村上 敏春[2]、藤本 憲太[2]、橋本 宏之[2]

B-11　低濃度NBCAを用いた塞栓術が有効であったintramedullary AVMの一例

神戸大学医学部脳神経外科
沖野 礼一、甲田 将章、三浦 伸一、藤田 敦史、篠山 隆司

血管内：急性閉塞（9:53～10:28）

座長：國枝　武伸（関西医科大学）
コメンテーター：今井　啓輔（京都第一赤十字病院）

B-12　CT, MRIをskipしてDirect Thrombectomyを行った内頸動脈閉塞症の１例

大西脳神経外科病院脳神経外科
細川 真、大西 宏之、前岡 良輔、砂田 拡、小坂田 陽介、片山 義英、高橋 賢吉、山本 慎司、
西岡 利和、兒玉 裕司、久我 純弘、大西 英之

B-13　総頚動脈起始部を含むタンデム閉塞症の１例：血栓回収後プロテクションデバイス展開下にバルーン拡張型ステントを用いた血行再建術

新須磨病院脳神経外科
溝脇 卓、斧渕 夏那、田中 宏知、高石 吉将、近藤 威

B-14　当院における頭蓋内狭窄病変による急性期脳梗塞の治療成績の検討

[1] 大西脳神経外科病院脳神経外科、[2] 大西脳神経外科病院脳神経内科
前岡 良輔[1]、大西 宏之[1]、細川 真[1]、砂田 拡[1]、小坂田 陽介[2]、片山 義英[1]、高橋 賢吉[1]、
山本 慎司[1]、久我 純弘[1]、大西 英之[1]

B-15　石灰化塞栓による左中大脳動脈閉塞例に対するcontact aspirationと回収血栓内の石灰化粥種

[1] 国立循環器病研究センター脳卒中集中治療科、[2] 国立循環器病研究センター脳血管内科、
[3] 国立循環器病研究センター脳神経外科、[4] 国立循環器病研究センター脳神経内科、
[5] 国立循環器病研究センター病理部、[6] 国立循環器病研究センター放射線部
田中 寛大[1]、鴨川 徳彦[2]、下永 皓司[3]、吉本 武史[4]、高下 純平[2]、畠山 金太[5]、西井 達矢[6]、
江頭 柊平[2]、塩澤 真之[2]、太田 剛史[3]、佐藤 徹[3]、片岡 大治[3]、猪原 匡史[4]、古賀 政利[2]、
豊田 一則[2]

B-16　総頚動脈解離に伴う脳虚血症例に対して急性期にステント留置を行なった２例

和歌山労災病院脳神経外科
中西 雄大、林 宣秀、岡田 秀雄、桑田 俊和

WFITN 2022告知（11:40～11:50）

神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経外科　　坂井 信幸

ランチョンセミナー２「動脈瘤の最適治療戦略」（12:00～13:00）

座長：石井　　暁（京都大学）

LS2-1　フローダイバーターの最適治療検討

大西脳神経外科病院
大西 宏之

LS2-2　コイルで治療すべき動脈瘤症例

神戸中央市民病院
今村 博敏

共催：テルモ株式会社

血管内：脳動脈瘤 2（13:05～13:54）

座長：豊田　真吾（関西ろうさい病院）

コメンテーター：布川　知史（近畿大学）

B-17　当初、転移性脳腫瘍が疑われた亜急性期の脳内血腫形成型破裂前交通動脈瘤の一例

大阪大学大学院医学系研究科脳神経外科学

館 哲郎、西田 武生、高垣 匡寿、中村 元、香川 尚己、貴島 晴彦

B-18　中脳破裂脳動静脈奇形に関連した後大脳動脈穿通枝動脈瘤の一例

京都大学医学部脳神経外科

平田 康仁、大川 将和、石井 暁、荒川 芳輝、菊池 隆幸、山尾 幸広、安部倉 友、佐々木 夏一、辻 博文、宮本 享

B-19　感染性脳動脈瘤の再破裂予防として開心術前日にコイル塞栓術を実施した一例

[1] 京都第一赤十字病院 脳神経・脳卒中科、[2] 京都第一赤十字病院 第一脳神経外科、[3] 京都第一赤十字病院 心臓血管外科

猪奥 徹也[1]、今井 啓輔[1]、山田 丈弘[1]、山本 敦史[1]、崔 聡[1]、長 正訓[1]、上田 凌大[1]、加藤 拓真[1]、梅澤 邦彦[2]、高橋 章之[3]

B-20　脳動脈瘤クリッピング術後再発瘤に対するコイル塞栓術成績

大阪医療センター脳神経外科

村上 慶次朗、尾崎 友彦、木谷 知樹、中島 伸、金村 米博、西本 渓佑、山﨑 弘輝、澤田 遥奈、瀧 毅伊、西澤 尚起、藤中 俊之

B-21　コイル塞栓術後８年目にくも膜下出血を発症した前大脳動脈近位部動脈瘤の１例

和歌山県立医科大学脳神経外科

金髙 由佳、八子 理恵、石井 政道、中尾 直之

B-22　後下小脳動脈に限局した破裂性脳動脈解離の１例

[1] 済生会京都府病院脳神経外科、[2] 京都府立医科大学脳神経外科学教室

卯津羅 泰徳[1]、南都 昌孝[2]、宮本 淳一[1]

B-23　破裂Pcom blood blister like aneurysmの１例

和歌山県立医科大学脳神経外科

川端 将之、辻 栄作、石井 政道、八子 理恵、中尾 直之

血管内：頚動脈・頭蓋内動脈狭窄症（13:56～14:24）

座長：田中　寛大（国立循環器病研究センター）

コメンテーター：山上　　宏（大阪医療センター）

B-24　Vertebral artery stump syndrome発症予防を目的とした血行再建術の１例

[1] 奈良県立医科大学脳神経外科、[2] 奈良県立医科大学放射線科

岡本 愛[1]、朴 憲秀[1]、中川 一郎[1]、横山 昇平[1]、木次 将史[1]、尾本 幸治[1]、明珍 薫[2]、西村 文彦[1]、山田 修一[1]、朴 永銖[1]、中瀬 裕之[1]

B-25　高安動脈炎に合併した頚動脈ステント内再狭窄の１例

京都府立医科大学脳神経外科学教室

山本 学、南都 昌孝、岸田 健吾、森迫 瑶貴、荻田 庄吾、丸山 大輔、橋本 直哉

B-26　CASPERを用いた頚動脈ステント留置術中にplaque protrusionが認められた１例

[1] 高清会高井病院　脳血管内治療科・IVR科、[2] 奈良県立医科大学　放射線・核医学科　IVRセンター

岸田 勇人[1]、高山 勝年[1]、和田 敬[1]、大島 圭裕[1]、明珍 薫[2]、田中 利洋[2]、吉川 公彦[2]

B-27　画像下治療に成功した外頚動脈near occlusionを伴った慢性期内頚動脈閉塞症の１例

[1] 社会医療法人高清会高井病院　脳血管内治療科・IVR科、
[2] 奈良県立医科大学　放射線・核医学科　IVRセンター
和田 敬[1]、高山 勝年[1]、岸田 勇人[1]、大島 圭裕[1]、明珍 薫[2]、吉川 公彦[2]

血管内：AVM、AVF2（14:26～15:01）

座長：菊池　隆幸（京都大学）
コメンテーター：藤田　敦史（神戸大学）

B-28　動脈瘤破裂による直接型内頸動脈海綿静脈洞瘻に対し、経動脈脈的にtarget sinus packingした１例

[1] 社会医療法人三栄会　ツカザキ病院脳神経外科、
[2] 社会医療法人三栄会　ツカザキ病院リハビリテーション科
長濱 篤文[1]、川上 太一郎[1]、小林 和貴[1]、盧 山[1]、服部 真人[1]、岡本 光佑[1]、下本地 航[1]、
坂本 竜司[1]、廣瀬 智史[1]、塚崎 裕司[2]、夫 由彦[1]

B-29　multiple access routesでのTVEが奏功したpetrous apex intraosseous AVFの一例

国立循環器病研究センター脳神経外科
西脇 崇裕貴、佐藤 徹、手賀 丈太、池堂 太一、角 真佐武、濱野 栄佳、下永 皓司、太田 剛史、
森 久恵、飯原 弘二、片岡 大治

B-30　孤立性S状静脈洞部硬膜動静脈瘻に対してOnyxを用いた経動脈的塞栓術で根治し得た１例

社会医療法人寿会富永病院脳神経外科
野本 和宏、木本 敦史、谷 将星、山田 大、向 祐樹、古部 昌明、長尾 紀昭、松田 康、久貝 宮仁、
南田 善弘、乾 敏彦、岩井 謙育、山里 景祥、北野 昌彦、富永 良子、富永 紳介

B-31　横-S状静脈洞部硬膜動静脈瘻に対してOnyxとScepterを用いた経動脈的塞栓術で完全閉塞が得られた１例

[1] 奈良県立医科大学附属病院　放射線科、[2] 社会医療法人高清会高井病院、　脳血管内治療科・IVR科、
[3] 医真会八尾総合病院　脳神経外科
明珍 薫[1]、高山 勝年[2]、高 由美[3]、内山 佳知[3]、黒川 紳一郎[3]、吉川 公彦[1]

B-32　皮質静脈逆流を伴う横・S状静脈洞部硬膜動静脈瘻に対し経静脈的にコイル・Onyxを用いて症状の改善が得られた１例

奈良県総合医療センター脳神経外科
前川 秀継、岡本 知也、至田 洋一、村上 敏春、藤本 憲太、橋本 宏之

血管内：解剖・その他（15:03～15:45）

座長：松本　博之（岸和田徳洲会病院）
コメンテーター：高山　勝年（高井病院）

B-33　術前塞栓術を行った小児側脳室内髄膜腫の１例

[1] 大阪市立大学脳神経外科、[2] 大阪市立総合医療センター　脳血管内治療科、
[3] 大阪市立総合医療センター　小児脳神経外科
西山 太郎[1]、石黒 友也[2]、田上 雄大[2]、中村 帆南美[3]、馬場 良子[3]、國廣 誉世[3]、小宮山 雅樹[2]

B-34　上位頚椎骨折に合併した椎骨動脈損傷の診断と治療：症例報告

長浜赤十字病院脳神経外科
伊藤 清佳、樋口 一志

B-35　Trans-Sigmoid approach術前評価目的にS状静脈洞閉塞試験を行った４例の検討

畷生会脳神経外科病院脳神経外科
山下 太郎、土居 温、木下 裕介、松下 葉子、池永 透、西村 進一、吉川 将史、黒岩 敏彦

B-36　Trousseau症候群における血栓回収療法と病理解剖で回収した血栓の病理学的検討- １剖検例からの考察

[1] 守口生野記念病院脳神経外科、[2] 守口生野記念病院脳卒中内科、
[3] 社会医療法人北斗 北斗病院脳神経外科、[4] 大阪市立大学大学院医学研究科
神﨑 智行[1]、松崎 丞[2]、大西 洋平[3]、高 沙野[4]、三好 瑛介[1]、山本 直樹[1]、片山 由理[5]、
山縣 徹[1]、西川 節[1]

B-37　内頸動脈閉塞として血栓回収療法を行ったところ、 大動脈解離が源疾患であることが判明した２症例

大阪医科薬科大学脳神経外科・脳血管内治療科
辻 優一郎、金光 拓也、矢木 亮吉、平松 亮、亀田 雅博、池田 直廉、野々口 直助、古瀬 元雅、
川端 信司、高見 俊宏、鰐渕 昌彦

B-38　遺残原始舌下神経動脈を伴う脳底動脈窓形成に破裂脳動脈瘤を生じた１例

[1] 近江八幡市立総合医療センター脳神経外科、[2] 滋賀医科大学脳神経外科
丸尾 知里[1]、辻 篤司[2]、藤川 涼子[1]、齋藤 実[1]、中島 正之[1]

■C会場（501-503会議室）

機能外科（8:30～9:19）

座長：西田南海子（（公財)田附興風会 北野病院）
コメンテーター：押野　　悟（大阪大学）

C-01　Trigeminocerebellar arteryによる三叉神経痛に対する微小血管減圧術
湖東記念病院脳神経外科
後藤 幸大、井上 卓郎

C-02　振戦優位型パーキンソン病に対する脳深部刺激療法のposterior subthalamic area　電極画像評価の一例
[1] (公財)田附興風会 北野病院脳神経外科、[2] (公財)田附興風会 北野病院脳神経内科
杉山 純平[1]、西田 南海子[1]、北村 和士[1]、吉崎 航[1]、元家 亮太[1]、松川 爽[1]、武部 軌良[1]、
箸方 宏州[1]、石橋 良太[1]、林 英樹[1]、戸田 弘紀[1]、上田 明広[2]、岡 佑和[2]、髙橋 牧郎[2]

C-03　ドラマーの下肢ジストニアの１例
[1] 独立行政法人国立病院機構奈良医療センター脳神経外科、
[2] 独立行政法人国立病院機構奈良医療センター脳神経内科
永田 清[1]、平林 秀裕[1]、下川原 立雄[1]、村瀬 永子[2]

C-04　本態性振戦に対するMRIガイド下集束超音波治療の短期結果
(公財)田附興風会 北野病院脳神経外科
北村 和士、西田 南海子、杉山 純平、吉崎 航、元家 亮太、松川 爽、武部 軌良、箸方 宏州、
石橋 良太、林 英樹、戸田 弘紀

C-05　当院における水頭症治療に対する脳室心房短絡術の治療経験
[1] 社会医療法人三栄会　ツカザキ病院脳神経外科、
[2] 社会医療法人三栄会　ツカザキ病院リハビリテーション科
盧 山[1]、川上 太一郎[1]、夫 由彦[1]、塚崎 裕司[2]、長濱 篤文[1]、坂本 竜司[1]、下本地 航[1]、
岡本 光佑[1]、服部 真人[1]、小林 和貴[1]

C-06　iNPH術後慢性期に急性頭蓋内出血を生じた症例の検討
[1] 野崎徳洲会病院脳神経外科、[2] 関西医科大学脳神経外科
前田 昌丈[1]、羽柴 哲夫[2]、上野 勝也[2]、内藤 信晶[2]、山村 奈津美[2]、小森 裕美子[2]、
磯崎 春菜[2]、李 一[2]、亀井 孝昌[2]、武田 純一[2]、吉村 晋一[2]、埜中 正博[2]、淺井 昭雄[2]

C-07　LPシャント術のバルブ埋設部に関する検討 -腰背部の傍脊柱筋上への留置について-
[1] 湖東記念病院脳神経外科、[2] 済生会滋賀県病院脳神経外科
後藤 幸大[1]、井上 卓郎[1]、岡 英輝[2]

外傷（9:20～9:48）

座長：中井　友昭（神戸大学）
コメンテーター：武田　純一（関西医科大学）

C-08　出血源が外傷か動脈瘤か判断に迷い、その後くも膜下出血をきたした重症急性硬膜下血腫の一例
兵庫県災害医療センター・神戸赤十字病院脳神経外科
後藤 大輝、原 淑恵、藤原 大悟、松尾 和哉、太田 耕平、山下 晴央

C-09　器質化慢性硬膜下血腫に対して中硬膜動脈塞栓術後と開頭血腫除去術を併用し良好な経過を得た１例

大阪医療センター脳神経外科

瀧 毅伊、尾崎 友彦、西澤 尚起、村上 慶次朗、山﨑 弘輝、西本 渓佑、木谷 知樹、金村 米博、中島 伸、藤中 俊之

C-10　頭部外傷後の硬膜下水腫を併発した水頭症に対し硬膜下-腹腔シャントを留置し、硬膜下水腫改善後にシステムを流用し脳室-腹腔シャントとすることで水頭症管理が奏功した一例

京都第二赤十字病院脳神経外科

上田 廉、小川 隆弘、土井 智行、中正 貴之、永井 利樹、村上 陳訓

C-11　SPECTによる脳血流評価が診断に有用であったskin flap syndromeの一例

大阪医療センター脳神経外科

山﨑 弘輝、木谷 知樹、藤中 俊之、中島 伸、金村 米博、尾崎 友彦、西本 渓佑、澤田 遥奈、瀧 毅伊、村上 慶次朗、西澤 尚起

血管障害２（9:50～10:32）

座長：内田　和孝（兵庫医科大学）

コメンテーター：中川　一郎（奈良県立医科大学）

C-12　Enlarged parietal foraminaを利用して脳動静脈奇形の摘出を行った一例

阪和記念病院脳神経外科

奥畑 裕人、梅原 徹、谷脇 祥吾、矢野 喜寛、小山 隆、谷脇 浩一、藤田 敏晃、種子田 護

C-13　直達手術による流出静脈遮断術が奏功した脊髄硬膜外動静脈漏の１例

[1] 奈良県総合医療センター脳神経外科、[2] 奈良県総合医療センター救命救急センター

岡本 知也[1]、前川 秀継[1]、至田 洋一[2]、村上 敏春[1]、藤本 憲太[1]、橋本 宏之[1]

C-14　急性期特発性頭蓋外内頚動脈解離に対しPTA＋stent留置術を施行した１例

近畿大学病院脳神経外科

古川 健太郎、布川 知史、辻 潔、藤島 一紘、高橋 淳

C-15　頚動脈内膜剥離術後に視機能の悪化をきたした頚動脈狭窄症の一例

天理よろづ相談所病院脳神経外科

笠島 一洋、藤本 基秋、谷 正一、緒方 秀樹、清水 寛平、井谷 理彦、秋山 義典

C-16　脳幹出血に伴う急性閉塞性水頭症に対し内視鏡下血腫除去術を行なった一例

[1] 社会医療法人三栄会　ツカザキ病院脳神経外科、[2] 社会医療法人三栄会　ツカザキ病院リハビリテーション科

下本地 航[1]、長濱 篤文[1]、盧 山[1]、小林 和貴[1]、服部 真人[1]、岡本 光佑[1]、坂本 竜司[1]、川上 太一郎[1]、廣瀬 智史[1]、塚崎 裕司[2]、夫 由彦[1]

C-17　頚部内頚動脈瘤に対して動脈瘤切除と端々吻合を行った一例

国立循環器病研究センター脳神経外科

田端 晋也、濱野 栄佳、池堂 太一、下永 皓司、櫛 裕史、角 真佐武、太田 剛史、森 久恵、佐藤 徹、飯原 弘二、片岡 大治

ランチョンセミナー３「コイル塞栓術の実際」（12:00～13:00）

座長：佐藤　　徹（国立循環器病研究センター）

LS3-1　硬膜動静脈瘻におけるcoilの役割
京都大学
大川 将和

LS3-2　脳動脈瘤塞栓術におけるAssist ssentの役割
奈良県立医科大学
中川 一郎

共催：日本ストライカー株式会社

感染（13:05～13:54）

座長：羽柴　哲夫（関西医科大学）
コメンテーター：森迫　拓貴（大阪市立大学）

C-18　破裂内頚動脈瘤コイル塞栓術後に続発した孤立性側脳室下角拡大の一例
[1] 京都府立医科大学脳神経外科学教室、[2] JCHO神戸中央病院脳神経外科
藤 圭佑[1]、古野 優一[2]、青木 拓磨[2]、桑山 一行[2]、松本 圭吾[2]

C-19　CASPER留置３か月後にステント周囲膿瘍を生じた一例
[1] 京都第一赤十字病院　脳神経・脳卒中科、[2] 京都府立医科大学　腎臓内科、
[3] 京都第一赤十字病院　感染制御部
長 正訓[1]、今井 啓輔[1]、山田 丈弘[1]、山本 敦史[1]、猪奥 徹也[1]、崔 聡[1]、上田 凌大[1]、
加藤 拓真[1]、山内 紘子[2]、太田 矩義[2]、弓場 達也[3]

C-20　中脳水道狭窄に伴う非外傷性髄液鼻漏の一例
京都府立医科大学脳神経外科学教室
小谷 紗稀、高橋 義信、森迫 瑶貴、山中 巧、橋本 直哉

C-21　COVID19に合併した脳症の一例
協和会協立病院脳神経外科
辻 翔一郎、棚田 秀一、横田 正幸

C-22　経鼻内視鏡手術にて治癒し得た斜台骨膿瘍の１例
南奈良総合医療センター脳神経外科
浅田 喜代一、枡井 勝也、石田 泰史

C-23　器質化慢性硬膜下血腫に引き続いて起こったHelicobacter cinaediによる感染性硬膜下血腫の１例
[1] 神戸市立医療センター中央市民病院脳神経外科、[2] 蜂須賀病院脳神経外科
西井 陸大[1]、秋山 智明[2]、福井 伸行[1]、坂井 信幸[1]、今村 博敏[1]、小柳 正臣[1]、後藤 正憲[1]、
福光 龍[1]、春原 匡[1]、高野 裕樹[1]、春山 裕典[1]、呉 浩一[1]、梶浦 晋司[1]、重安 将志[1]、寺西 邦匡[1]

C-24　突然の麻痺症状で発症した脳膿瘍の２例
[1] 兵庫県立加古川医療センター脳神経外科、[2] 兵庫県立姫路循環器病センター脳神経外科
荒井 篤[1]、中原 正博[1]、相原 英夫[2]、森下 暁二[1]

脊椎脊髄（13:55～14:30）

座長：陰山　博人（兵庫医科大学）
コメンテーター：梅垣　昌士（吹田市民病院）

C-25　横断性脊髄障害の急激な悪化を認め炎症性疾患と鑑別が困難であった脊髄diffuse midline gliomaの一例

[1] 北播磨総合医療センター脳神経外科、[2] 北播磨総合医療センター病理診断科、
[3] 北播磨総合医療センター放射線診断科
岡村 優介[1]、三宅 茂[1]、山本 大輔[1]、坂田 純一[1]、梅田 昴[1]、山本 侑毅[2]、梅野 晃弘[3]、
冨田 優[3]

C-26　胸髄原発神経膠芽腫の一例

神戸掖済会病院脳神経外科
樋上 真之、富永 貴志、山本 健太、駒井 崇紀、宮田 至朗、林 真人、中嶋 千也

C-27　症候性仙骨嚢胞に対するラッピング縫縮術

大阪医科薬科大学脳神経外科・脳血管内治療科
山田 浩徳、金光 拓也、辻 優一朗、矢木 亮吉、平松 亮、亀田 雅博、池田 直廉、野々口 直助、
古瀬 元雅、川端 信司、高見 俊宏、鰐渕 昌彦

C-28　嚥下困難を来した前縦靭帯骨化症の一例

[1] 医療法人ラポール会　田辺脳神経外科病院、[2] 関西医科大学脳神経外科
森本 隆之[1]、李 強[2]、藤川 喜貴[1]、朴 陽太[1]、藤城 高広[1]、大塚 宗廣[1]、田辺 英紀[1]

C-29　発症急性期に摘出術を実施した上位頸髄海綿状血管腫の１例

大阪医科薬科大学脳神経外科・脳血管内治療科
辻野 晃平、金光 拓也、辻 優一郎、矢木 亮吉、平松 亮、亀田 雅博、池田 直廉、野々口 直助、
古瀬 元雅、川端 信司、高見 俊宏、鰐渕 昌彦

その他（14:30～15:05）

座長：奥田　武司（近畿大学）
コメンテーター：亀田　雅博（大阪医科薬科大学）

C-30　lipomyelomeningoceleに余剰下肢を合併した症例

兵庫県立こども病院脳神経外科
斧渕 夏那、東野 真志、阿久津 宣行、小山 淳二、河村 淳史

C-31　巨細胞性動脈炎の診断における側頭動脈生検の有用性

大阪医療センター脳神経外科
西本 渓佑、中島 伸、木谷 知樹、尾崎 友彦、金村 米博、山﨑 弘輝、澤田 遥奈、瀧 毅伊、西澤 尚起、
村上 慶次朗、藤中 俊之

C-32　水頭症シャントシステム留置患者に対する腹腔手術時の腹腔内チューブ管理について
～直近２例の経験より～

堺市立総合医療センター脳神経外科
入里 直樹、角野 喜則、梶川 隆一郎、都築 貴、中島 義和

C-33　腰椎穿刺後の頭蓋内急性硬膜下血腫の病態把握に全脊椎MRIが有用であった一例

[1] 神戸大学医学部脳神経外科、[2] 製鉄記念広畑病院脳神経外科
新田 修幹[1]、山西 俊介[2]、長嶋 宏明[1]、魚住 洋一[1]、篠山 隆司[1]

C-34　Trajectory決定に垂直断面画像を活用した海綿状血管腫の１例

神戸市立西神戸医療センター脳神経外科
榎波 はる霞、西原 賢在、蘆田 典明、細田 弘吉

Memo